

# かわにし

議会だより

第165号

2026

4.15



2年生



川西町議会HP  
QRコード

## 今日から 一年生

犬川小学校入学式より P31に関連記事

### 特集

なるほど議会ウォッチング	2
シリーズ広聴 女性議員インタビュー	4
政策提言 検証評価	6
3月定例会のあらまし	10
町政を問う	20
あれからどうなった	30

第1回目

## 「私たちの声が届く場所 議会のキホン」

### ①多様な視点で「議会の活性化」

現在、多くの地方議会では議員の高齢化や固定化が課題となっています。しかし、社会が複雑化する中で、育児や介護、あるいは新しい働き方に直面している「若者や女性」の視点は、今のまちづくりに欠かせない活力そのものです。生活者に近い視点を持つ人々が議会に加わることで、これまでの慣例にとられない柔軟な政策提言が可能になります。特定の層だけでなく、多様な属性を持つ議員が議論を交わすことこそが、町民全体の利益を守る「開かれた議会」への第一歩であり、議会の機能を最大化させる鍵となります。

### ②「なり手不足」を解消

議員を志す人が減っている背景には、立候補に伴う精神的・経済的なハードルの高さがあります。特に現役世代にとっては、選挙準備の負担や落選時のリスクが大きな壁となっています。この課題を解決するためには、立候補休暇制度の導入や、選挙費用の公費負担の拡充など、誰もが挑戦しやすい仕組みづくりが急務です。「特別な人だけがなるもの」という議員像を払拭し、意欲ある町民がスムーズに政治の舞台へ立てる環境を整えることが、民主主義の基盤を維持するために不可欠なプロセスといえます。

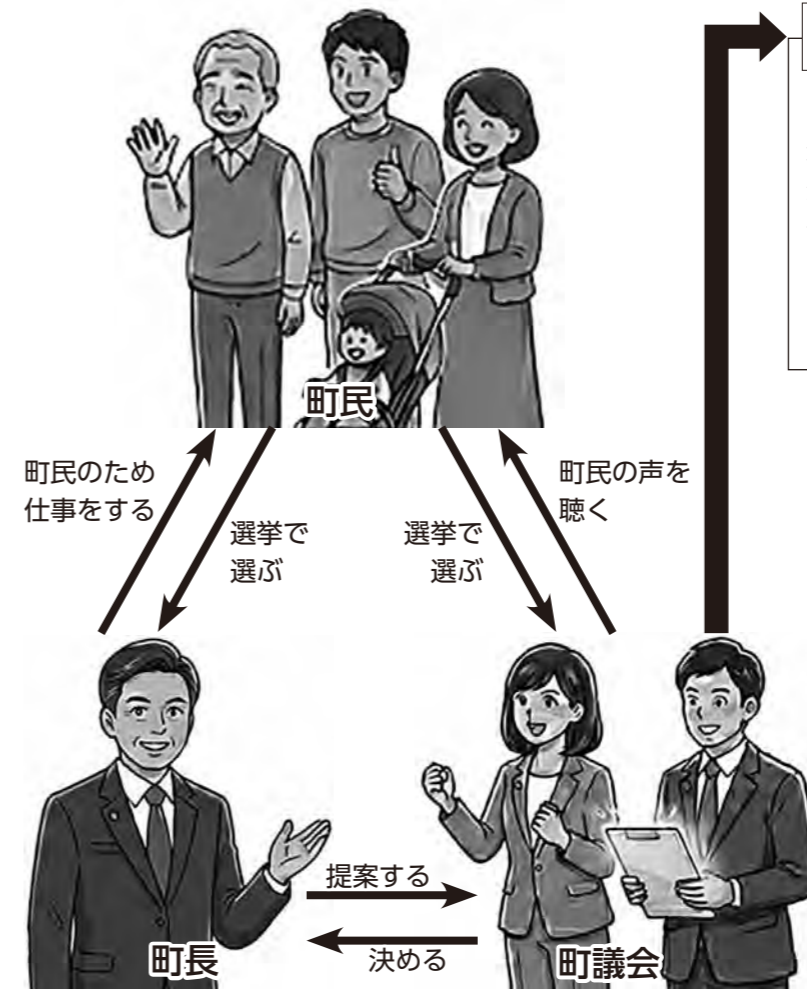
### ③働き方と政治活動の「両立」

「子育てや介護をしながら議員が務まるのか」という不安は、参画を阻む大きな要因です。これに対し、全国の議会では会議規則を改正し、出産や育児、介護を欠席理由として明文化する動きが広がっています。さらに、ITを駆使した「議会DX（デジタルトランスフォーメーション）」も注目されています。オンライン会議の活用や情報共有のデジタル化により、家庭や仕事の責任を果たしながら、その経験を政策に生かせる「持続可能な議員活動」のモデルを確立することが、多様な人材を呼び込む原動力となります。

### ④主権者教育と「選挙のハードル」

選挙に立候補する手順や議会の仕組みは、一般的に「難解で遠いもの」と感じられがちです。なり手不足を解消するには、若者や女性に向けた主権者教育や、実際の議会活動を体験できるインターンシップなどの機会を増やすことが有効です。供託金の負担や選挙カーによる騒音など、従来の選挙スタイルのあり方を見直し、SNSやネットを活用した「低コストで志が伝わる選挙」へのシフトも求められています。ハードルを正しく理解し、それを下げるための工夫を共有することで、次世代のリーダーを育む土壌をつくります。

## 町議会は何をするところ？



### 議員

4年に一度選挙で選ばれます。満25歳以上で、川西町に引き続き3カ月住んでいる必要があります。

### 主な仕事は

議決…条例や予算を決定  
質問…一般質問や分科会質疑で町の仕事のチェック  
請願や意見書・陳情の審査

川西町議会では、町民に開かれた活力ある議会を目指し「議会活性化調査特別委員会」を設置して1年間にわたり調査を重ねてきました。このたび調査結果がまとまったことを受け、本号から4回にわたり特別連載をお届けします。「そもそも議会とは何か？」とい

う基本から、委員会のしくみや予算・決算における審議の過程、さらには議会傍聴について詳しく解説します。私たちの暮らしと議会のつながりを、あらためて共に考える大切なきっかけとなれば幸いです。

## なるほど議会ウォッチング 連載予定

①「私たちの声が届く場所 議会のキホン」

②「徹底解析！ 委員会って何してるの？」

③「予算と決算、どうやって決まるの？」

④「議会傍聴のススメ&議員と話してみよう！」

### 年間スケジュール

3月：定例会（予算）  
6月：定例会  
9月：定例会（決算）  
12月：定例会  
他に随時：臨時会  
本会議→（上程）  
委員会・分科会→（審査）  
本会議→（議決）

議会では、より多くの町民の皆さんに意見を伺い、議会活動の参考にさせていただくとともに、町内の優れた活動を紹介し多くの方に知ってもらおう活動を行っています。

今回は議会活性化調査特別委員会（\* p 2、p 27参照）の調査報告を受けて、なり手不足の観点から女性の政治参加を促す対応が必要である点に注目し、身近な女性議員からの意見を伺いました。

聞き手は橋本欣一広聴広報常任委員会委員長。

# 女性議員の視点が拓く 川西町の議会

## 未来と展望を語るインタビュー

**立候補のきっかけと、  
当選して見えた景色**

**橋本** 本日はお集まりいただきありがとうございます。現在、川西町議会では女性議員が1昨年から2名となりました。まずは、皆さんがなぜ政治の道を志したのか、そして実際に議員として活動してみてもの率直な感想をお聞かせください。

**遠藤** 私はもともと地域活動に携わって

い点もあります。もっと町民に伝わる言葉に変換していくのも、私たちの役割かもしれません。

**第6次総合計画と「女性  
が立候補しやすい環境」**

**橋本** 現在、川西町で「第6次総合計画」において、若者や女性の活躍を重点項目に掲げています。しかし、次世代の女性議員を増やすためには、個人の勇気だけでなく、環境整備が必要です。

**遠藤** 立候補をためらう最大の理由は、やはり「家庭との両立」と「金銭的な不安」そして「周囲の理解」です。議員報酬の在り方はもちろんですが、例えばオンライン会議の導入や、育児・介護に伴う欠席規定の明確化など、制度面のバックアップをさらに進めるべきだと思います。

**橋本** 広報委員長の立場から見ても、議会の言葉使いが難

しいと感じています。



**遠藤 明子 副議長**  
令和元年初当選・現在2期目  
地区交流センター勤務を経て、現職

**船山** 私は正直なところ、最初は政治の世界は遠いものだと感じていました。

**船山** 私は「無投票」での当選でしたが、これは裏を返せば、なり手不足の深刻さでもあります。若い世代や女性が「自分たちの代表がいらない」と感じないように、議会の様子をもっと可視化したいですね。「私でもできる、私だからできる」と思ってもらえるような、カジュアルな意見交換会が必要です。

**橋本** おっしゃる通りです。議会として

思っていました。しかし、活動を始めて2年、女性や若い世代の視点がこれほど求められているのかと驚いていました。現場に足を運ぶと「女性だからか、話しかけられることも多い」と感じており、それが今の原動力ですね。

**橋本** 2人の言葉は、は5期目の議員ですが、以前に比べれば女性議員への理解は進みました。しかし、依然として

でも、これまでの慣例に縛られず、多様なライフスタイルを持つ人が参画できるルール作りを加速させなければなりません。

**結びに：町民の皆様へ**

**橋本** 最後に、2人から町民の皆様へメッセージをお願いします。

**遠藤** 女性議員が増えることは、単に数の問題ではなく、町民の多様性を守ること

で「生活の現場」を知る立場の感覚が、議会運営には不可欠だと痛感しています。

**橋本** 全国的にもそうですが、議会はまだまだ男性が圧倒的多数です。活動の中で感じる難しさや、独特の雰囲気についてはいかがですか。

**遠藤** やはり、会議の時間設定や伝統的な意思決定のプロセスに、少し「男性中心」の文化を感じることはありますね。例えば、会議が多いと、家事や介護・育児を担う女性は物理的に参加が難しい。能力の問題ではなく、役割的なハードルがあると感じます。

**船山** 私は、議論の「言葉」の違いを感じることもあります。男性議員はインフラ整備

です。女性組織の活動が弱くなった今、皆様の声をしっかりと形にできるよう、これからも地域を歩き続けます。

**船山** まだ2年目ですが、新しい川西町の姿を提案していきたいです。特に、子育てや暮らしの現場の声を大切にしたい、女性・生活者の視点を町政に届けていければと思います。町民の皆さんとともに良い川西町をつくりたいですね。ぜひ、気軽に声をかけてください。

**橋本** 2人の女性議員が語ったのは、政治への高い志以上に、この町で暮らす人々への深い愛情でした。第6次総合計画の成功には、彼女たちの視点が不可欠であることを再確認したインタビューとなりました。



**船山 千鶴 議員**  
令和6年初当選・現在1期目  
山口県下関市出身、ボランティア活動に参加

# 成果出始めるも 評価は卒回

## 令和6年度 政策提言 検証評価

3月23日、令和8年第1回定例会最終日終了後、令和6年度政策提言検証評価報告書が鈴木議長から茂木町長に手渡された。平成25（2013）年5月に制定・施行した議会基本条例で掲げた「町民参加の拡大」「政策提言」の目標を具現化し、意見交換会を実施し、その意見を踏まえた中で政策提言を行うもの。

令和6年8月に10回目となる意見交換会を実施し、自治会の課題や公立置賜川西診療所、その他について意見交換が実施された。その意見などを踏まえながら総務文教・産業厚生両常任

委員会では、整理し提案された内容などを取りまとめ、議会として課題とされた項目を政策提言としたものである。議会は多面的に町の政策決定・実施に関わり最終的に意思決定を行う。

中長期の政策は成果が見えにくいため評価が低くなるが、大半は一定の成果有りのC評価であり、着実に施策が進んでいる。こうしたことを踏まえ令和6年11月1日に第12回目の政策提言を実施し、町長から12月3日に回答があり、1年間状況を見ながら今年1月に聴き取り調査を行い、今回の評価に至った。



新しい政策が町民の生活向上を実現

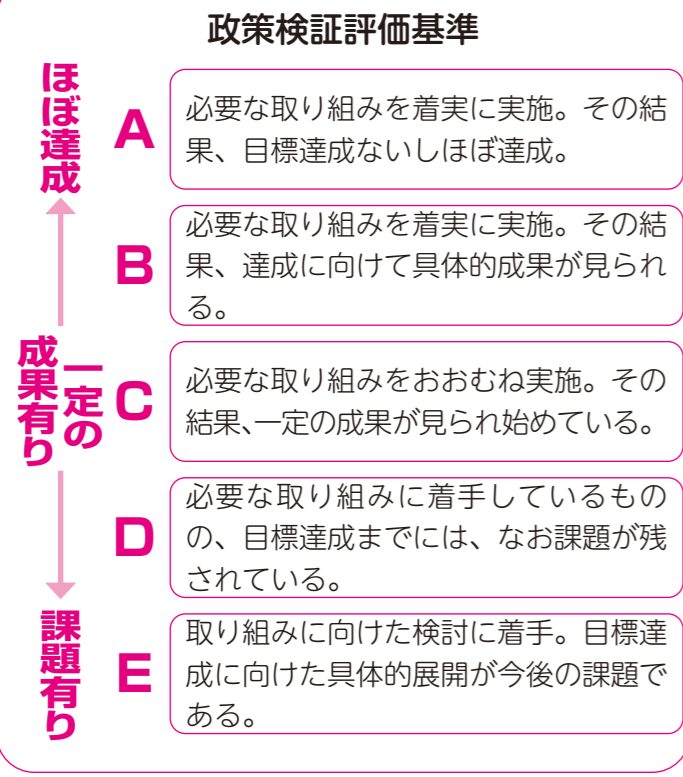
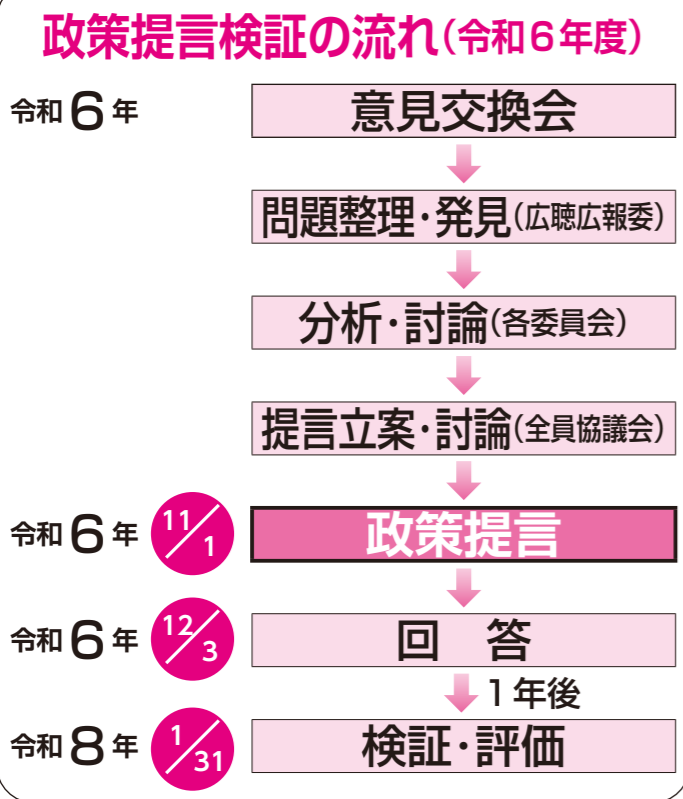
議会は、町の政策決定、実施の過程で多面的に関わり、町の最終意思決定を行う。町が計画する多くの政策は、町民や議会の要望、提言などを取り入れ、議会に提案される。議会ではその議案の審査を通じて、質疑や修正を行い議決される。

議会は、執行機関が議決通りに行政運営や事業執行を適正かつ公平で効率的に実行しているか監視する重要な機関である。

**川西独自の検証システム**

議会では「議会基本条例」に基づき、町民との意見交換会を実施し、多くの意見を集約して毎年町当局に「政策提言」を行っている。議会では提言にとどまらず、どう実行されたか、1年後に「検証評価」を行っている。

この評価システムは、川西町議会が独自で考案したものであり、改良改善を続けてきた。



- 1年後の到達度を5段階評価**
- 提言を行った施策の調査は次の7項目。
- ① 政策を必要とする背景
  - ② 提案に至るまでの経緯
  - ③ 町民参加の有無およびその内容
  - ④ ほかの自治体の類似する政策との比較
  - ⑤ 総合計画における位置づけ
  - ⑥ 財政的な裏付け
  - ⑦ 将来にわたる政策などのコスト
- 聞き取り後、各議員が5段階評価し、全議員の平均点が評価となる。さらに広聴広報常任委員会で整理・検討を行い、議会運営委員会を経て全員協議会に諮り、正式な報告書となる。評価基準は令和8年1月31日。

**1 自治会長の負担軽減を図ること**

**回答** 自治会長の負担軽減については、関係各課および関係団体と連携を図りながら、必要に応じて見直しに取り組んでいく。報酬については負担軽減とあわせて検討していく。

**検証評価** 町民への周知方法としては、ある程度紙媒体の活用が不可欠であるが、各種団体と緊密に調整を重ね、可能な限り負担軽減に努められたい。また業務内容はもとより、なり手不足解消を図る一手段として、報酬増額について検討を加速すべきである。

**2 自治会の合併に向けた支援体制を構築すること**

**回答** これまでも、人口減少や高齢化により自治会を維持運営することが困難になることから、組織の見直しや近隣自治会と合併した事例がある。自治会合併に関し町へ相談いただいた場合には、これまで同様、個別の状況を把握しながら対応していく。

**検証評価** 自治会の在り方については一定の対応がなされ評価できるものの、マニュアルや基準の整備が必要な時期に差し掛かっている。自治会の維持および合併に関しては、人口減少に伴い、年々組織運営の厳しさが増し、組織力が低下している現状を踏まえ、各地区の経営母体と緊密に連携し、住民理解と協力を得ながら推進すべきである。

**2 公立置賜川西診療所の整備方針を整えること**

**回答** 建築基準法改正前の建物であり、築57年が経過し、老朽化が著しいことから、整備基本構想・基本計画の策定に取り組んでいるところである。川西診療所の安定した経営に資する医療機能および施設機能の充実、あわせて将来負担の提言を見据えた整備を図っていく。

**検証評価** 整備方針として、公立置賜川西診療所施設整備基本構想・基本計画が明確に示されたことは一定の評価ができる。なお、川西診療所は、身近な地域において初期診療や慢性期医療を提供する役割を果たしてきており、安定した経営に資するため、医療機能および施設機能の充実を図るとともに、将来の負担軽減を見据えた整備を行うこと。

**1 医療・介護体制の充実を図ること**

**回答** 入退院時の医療機関と福祉・介護サービスをつなぐ体制づくりは、利用者や家族を取り巻く関係者の連携により対応している。高齢化が進展することに伴い、安心して医療を受け、住み続けることができるよう、訪問診療および在宅医療体制を推進していく。町民相談窓口は、分野を超えた包括的な対応が求められることから、課を横断したケース会議などを重ねながら連携に努めていく。

**検証評価** 町民の複合的な課題が増加する状況を踏まえ、医療・福祉・介護の横断的支援が連携して行われていることは評価できる。今後さらに、継続的かつ包括的な支援体制の充実に向けて努力すること。

**1 移住定住および関係人口の拡大に向けた取り組みを図ること**

**回答** 地域おこし協力隊の「地域定着活動」を新規開拓し、定住、定着を促進する取り組みを進める。空き家所有者へは「空き家バンク登録」情報を行い、移住定住、関係人口として選ばれる環境を整え、検討者の目に留まる機会が増えるよう積極的な情報発信に努めていく。

**検証評価** 地域おこし協力隊による地域課題の軽減に向けた取り組みは評価できる。今後も、地域の多様な要望に即した地域おこし協力隊の活用について研究すること。空き家を活用した移住・定住の促進に取り組んできたことは評価できるが、今後は、空き家利活用に関して、財源を含む多様な対策に取り組むべきである。

**2 町民の幸福度を上げる取り組みを図ること**


**回答** 町内で催される各種行事などへは、公益性が認められるものに対して支援している。今後とも町の趣旨にのっとり自主的な活動への支援に取り組んでいきたい。買い物弱者への支援については、さまざまなニーズ、寄せられた声を集約し、互助の力を維持しながら安心して暮らせるよう、有効な方策について研究、検討していく。

**検証評価** 幸福度には個人差があり、近隣市町の施策と同等以上を目指すにつれ、多くの町民が参画し誰もが活躍できる仕組みづくりを図り、有利な財源確保に努めること。買い物支援については、町が進めるデマンド型乗合交通の機能拡大とニーズに応じた利用方法の研究に取り組まれることを期待する。

**1 保護者負担が生じないよう、保育料の完全無償化に向け対応すること**

**回答** 保育料については、令和4年度から山形県による段階的負担軽減事業に併せ、町で上乗せして保育料の軽減を行っている。今年度は、保育認定多子カウントを小学校就学以前から、18歳までに拡大し第2子以降のお子さんをもつ保護者の負担軽減を図っている。令和7年度以降については、国県の動向を注視しつつ、子育て中の保護者へのさらなる支援拡充に向け、引き続き検討を進めていく。

**検証評価** 県の保育料一部負担軽減の実施に合わせて、本町も同等の負担軽減を実施しているが、引き続き全階層の保育料完全無償化に向けた取り組みを推進すること。



新築を待つ = 川西診療所



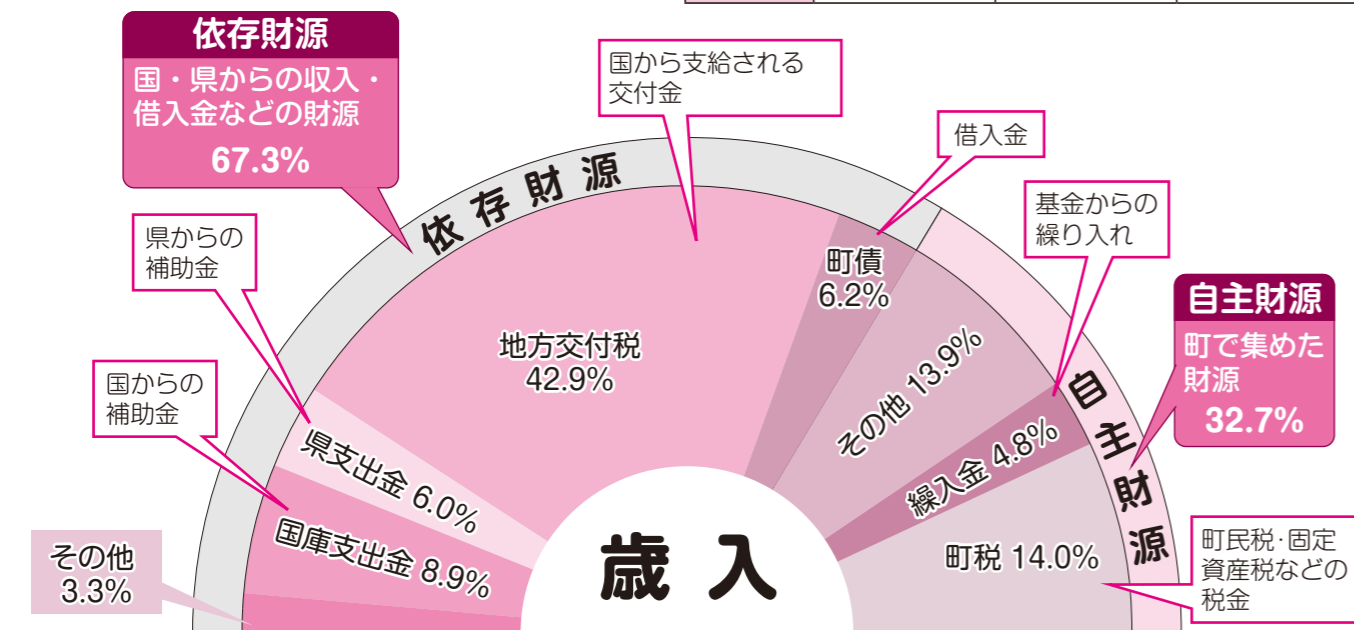
保育料無償化が実現

# 保育料無償化実現へ

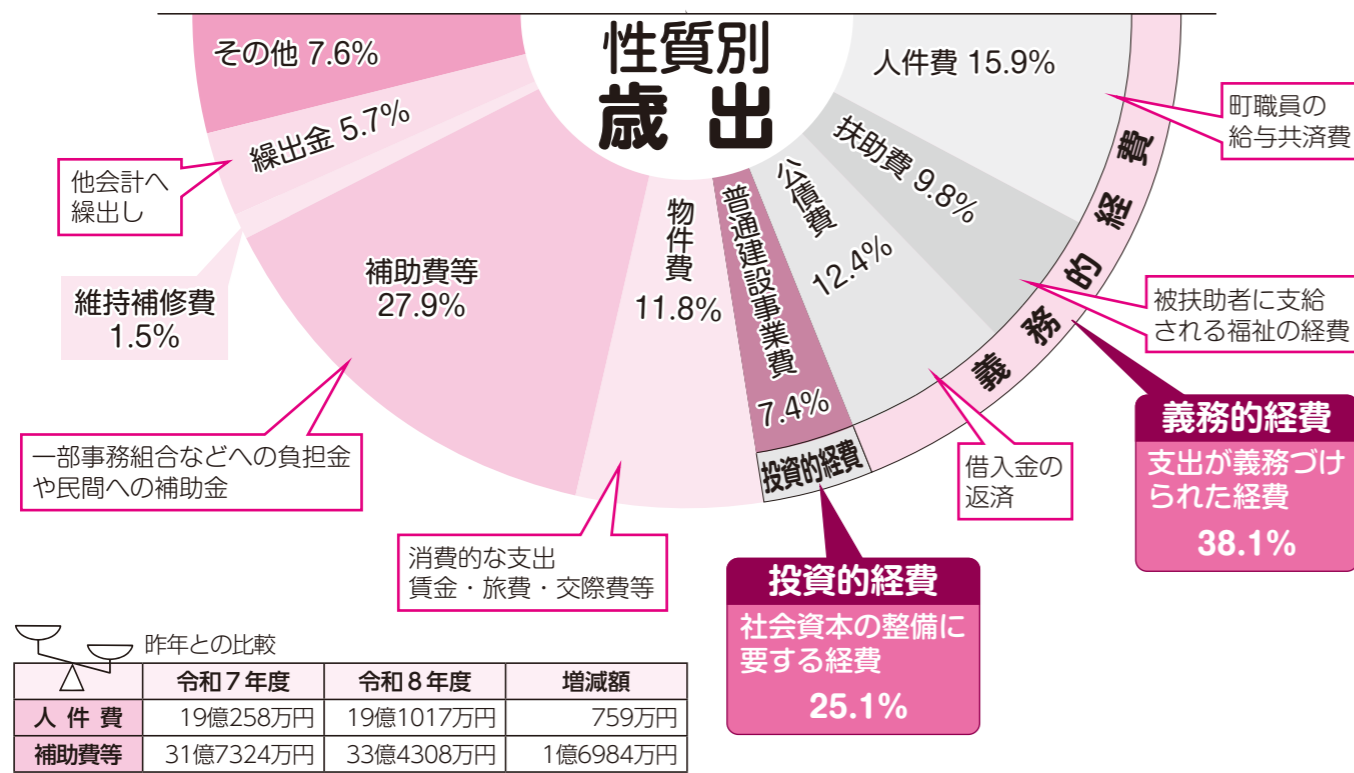
## 予算の内訳

昨年との比較

	令和7年度	令和8年度	増減額
地方交付税	53億1000万円	51億4800万円	△1億6200万円
町債(借入金)	24億8360万円	7億4270万円	△17億4090万円



## 一般会計 119億8800万円



昨年との比較

	令和7年度	令和8年度	増減額
人件費	19億258万円	19億1017万円	759万円
補助費等	31億7324万円	33億4308万円	1億6984万円

### 令和8年度一般会計予算の特徴

1. 119億8800万円で前年対比12.8パーセント減。
2. 投資的経費は、まちなかテラス整備事業・川西中長寿命化事業・町民体育館整備事業の完了により74.3パーセント減の8億8975万円。
3. 公債費(借入金返済)は前年対比12.1パーセント増の14億9248万円。
4. 主な事業は、旧高山小体育館解体工事、物価高騰デジタル地域通貨配布事業、若者・女性活躍推進事業、保育料負担軽減助成事業(保育料無償化)、3町連携推進事業など

予算規模と減少の背景  
令和8年度の一般会計予算案は、総額119億8800万円(前年度比12.8%減)となる。大幅な減少は、まちなかテラスの整備や川西中学校の長寿命化事業といった大型プロジェクトがひと段落したことによるもの。

待望の保育料無償化が実現  
町議会が、最重要課題として強く要望してきた「保育料の完全無償化」がいよいよ実現する。子育て世代の負担を軽減し、若い世代が川西町で安心して暮らし続けられる環境を整えるための、未来への力強い投資となる。

ふるさと納税への高い期待感  
自主財源の柱として「ふるさと納税」の大幅な伸びが特に期待されている。町の魅力を全国に発信し、寄付金を効果的に活用することで、厳しい財政状況で、厳しい財政状況を補い、住民サービスの維持・向上につなげていく方針である。

### 3月定例会のあらまし

3月定例会が、3月4日から23日までの20日間の会期で開催された。  
第1日目に、監査委員の選任、川西町固定資産評価審査委員会委員の選任、農業委員会委員の任命、人権擁護委員の推薦意見、松川堰組合議会議員の選挙の人事案件15件を可決、契約案件2件を審議採決し可決、条例案5件、過疎計画の策定、町有地の無償貸付、町道路線の廃止と認定の9議案を一括上程、質疑の後、各常任委員会に付託した。  
続いて、令和8年度施政方針の説明、条例案3件、令和7年度4会計補正予算、令和8年度7会計予算の14議案を一括上程、請願1件を付託した。

第2日目に4人の議員、3日目に2人の議員が一般質問を行い、カスハラ対策、保育料無償化、部活動の地域展開、給食の無償化などについて質問した。次いで、本会議を開き第1日目に一括上程した予算案に対し総括質疑を行い、予算特別委員会に付託した。  
第4日目を以降、各常任委員会、予算特別委員会分科会を開催し、各議案を審査した。  
最終日に、予算特別委員会の採決後、各常任委員会に付託された9議案、予算特別委員会に付託された14議案追加提案された工事変更請負契約の締結および、請願2件を原案通り可決し閉会した。  
今定例会の傍聴者は2人だった。

# ふるさと納税大幅増期待

次はピックアップ

# 新年度事業に

# 期待しちゃうわ!!



新築を待つ川西診療所 = 小松

羽前小松駅前に公立置賜川西診療所が建つことがようやく決まり、私たち高齢者にとって、とてもうれしく安堵しています。今の診療所は古くて衛生面も良くありませんでした。今後、駅前に移設されれば、新しい交流施設「まちりあ」と共に人の行き交いも生まれ、活性化が期待されます。川西診療所は公立置賜総合病院とも繋がっているので安心できます。総合病院は待ち時間が長く、交通の面でも街中だと気軽に行くことができ、うれしい限りです。

## 新川西診療所整備事業



小松地区  
遠藤 恵子さん



小松地区交流センター長  
加藤 健吉さん

小松地区交流センターの活動の拠点として、地域の方々の親睦と交流が図られ、にぎわいづくりに寄与できるような施設を生かし、新たな事業の仕組みづくりと活動内容を工夫し、地域の方が楽しんで参加出来る場所を目指したいと思います。

## 「まちりあ」に期待



5月2日にオープン = 「まちりあ」

多くの方が待ち望んでいた川西まちなかテラス「まちりあ」が完成しました。誰でも気軽に立ち寄り、遊びや交流を通して人との繋がりが生まれ、中高生の居場所をはじめ交流拠点として地域に活気が出ると期待します。



空から見るメディカルタウン = 大塚

救命救急センターを備えた病院は立地場所で二転三転して、現在の川西町西大塚に決まりました。しかし置賜全市町参加の運営ではなく、県と2市2町での運営となりました。2000年に開院しましたが、田畑の中にポツンと立つ病院でした。民間事業者のアパート・料理店や戸建て住宅が増え、新たな開業医も増加して街らしさができました。川西町による開発事業も進められ、現状に至っています。今後も新たな企業誘致・宅地分譲を進めていただき、町のさらなる発展を期待しています。

## メディカルタウン 『回想』と『希望』



大塚地区  
梅津 敏男さん

救命救急センターを備えた病院は立地場所で二転三転して、現在の川西町西大塚に決まりました。しかし置賜全市町参加の運営ではなく、県と2市2町での運営となりました。

## 地域子育て支援事業

1148万円



待望の保育料無償化

子育てしやすいまちづくりの一環として、保育料の無償化は、これまで対象外だった第1子や所得の第5階層以上の世帯にも対象を拡大する。物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用する。子どもの年齢や親の所得を問わずに無償化を進め、子育て世代の負担軽減を図る。

## 川西まちなかテラス管理運営事業

1331万円



まちなかテラス「まちりあ」

旧役場庁舎跡地の有効活用策として、にぎわいづくりの拠点となる川西まちなかテラスが5月、オープンする。多様な人材が活躍できる環境づくりや、交流を生み出すことで幅広い世代の活躍を促し、関係人口の創出と拡大を目指す。当面は、町の直接管理となるが、指定管理運営を予定している。



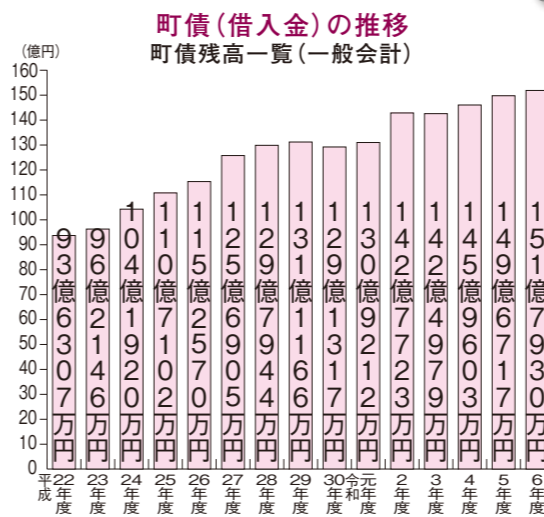
## ふるさとづくり基金管理事業

7億4924万円



ふるさと納税による寄付金は、昨今の米価高騰の影響などにより、23年以降、毎年1億円規模で増加している。地元の米・米沢牛を主体として返礼品の出品事業者の拡大と多様化を目指す。生産者向けの講習会を開き、酒蔵での酒造りツアーなど体験型事業の企画にも力を入れる。

## ここが知りたい1



## 令和8年度各会計予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計	119億8800万円	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計	16億7401万円	賛成多数により可決(反対2)
介護保険事業特別会計	19億8957万円	賛成多数により可決(反対2)
後期高齢者医療特別会計	2億7218万円	賛成多数により可決(反対2)

企業会計	収入	支出	議決の内容	
水道事業会計	収益的	4億3407万円	4億4084万円	全員賛成により可決
	資本的	1億1850万円	2億5247万円	
下水道事業会計	収益的	4億335万円	3億5464万円	全員賛成により可決
	資本的	9738万円	2億6220万円	
農業集落排水事業会計	収益的	8591万円	6602万円	全員賛成により可決
	資本的	725万円	3917万円	

## ここが知りたい2

### 令和8年度当初予算と標準的な町との比較(一人当たり)

一人当たりの予算額	人件費	公債費(返済額)	積立金(貯金)
823,465円	131,211円	102,519円	37,565円
標準的な町: 500,000円	標準的な町: 85,000円	標準的な町: 55,000円	標準的な町: 30,000円

次は予算審議



# 6総スタート、若者・女性の活躍を後押し

## 第1分科会 総務文教

### 地域未来交付金の活用は

**政策推進課長** 県を中心に広域的な婚活を行っていく。

**意見** 町独自の事業も展開し、出会いの場、交流の機会を創出しながら少子化対策につなげるように。

**問** **コミュニティ助成事業は**

**政策推進課長** コミュニティ助成事業に4件の申請がある。

**意見** 事業の不採択団体に対し、町独自の支援策を検討するように。

**問** **賦課徴収事務経費は**

**税務課長** 固定資産税家屋全棟調査については、令和7年度末をもって一旦休止とする。

**意見** 再開予定時期を明確にしながら、早期に再開するように。

**問** **消防水利整備事業は**

**総務課長** 計画的な自然水利の防火水槽改修を行う。

**意見** 防火機能の維持管理のため、改修を継続するように。

**問** **フレンドリープラザ管理運営経費は**

**教育文化課長** 施設内の空調の使用は令和8年度限りとし電気冷房の再整備を進める。

**意見** 雪冷房の使用を終えるにあたり、これまでの効果を総括するように。

## 第2分科会 産業厚生

**問** **若者・女性活躍推進事業は**

**企画課長** 第6次川西町総合計画におけるプロジェクトとして、地域未来交付金を活用して実施する事業である。

**意見** 交付金の活用にあたっては、強い地方経済の実現に向けて有効活用すること

また、「川西100チャレンジ補助金」や「恩送りポイント」などの新規事業について、町民に対し丁寧な周知を行うように。

**問** **ライフプラン支援事業は**

## 第2分科会 産業厚生

**問** **地域おこし協力隊の募集状況は**

**商工課長** 令和8年度は新たに2人の隊員を募集し、地域課題解決に取り組む。

**意見** 任期終了後は本町に定住するよう努めるべき。

**問** **川西応援大使は**

**商工課長** 本町出身や縁のある個人もしくは団体に委嘱している。本町の魅力と情報発信をお願いしている。

**意見** 本町のイメージ向上につなげるように。

**問** **子育て支援センターの利用状況**

### 地域おこし協力隊 新たに2人追加

**はどうか**

**健康子育て課長** 平日はもちろん土、日曜日の開所などで利用しやすい運営に努めている。

**意見** 今後も利用者の増加に向け、案内を積極的に行い、施設の認知度を高めるよう努力すべき。

**問** **粗大ごみ収集運搬業務を休止する理由は**

**住居課長** 収集事業を見直すため一時休止し、直接個人搬入で対応の方針とした。ニーズの把握に努めている。

**意見** 住民の要望把握に努め、再開を検討するように。

**問** **鳥獣被害が増えている。今後の鳥獣被害防止対策は**

**農林課長** 集落支援員制度を活用し、新たに有害鳥獣対策員を1人雇用することにした。当面は猟友会などの連絡協調を図る役割を担う。

**問** **新規就農支援事業の内容は**

**農林課長** 令和8年度新規就農者の事業対象者は現在5人であり、1人当たり150万円を活動助成する。新たに増えた場合は、補正予算で対応し新規就農を支援していく。

**意見** さらなる新規就農者の確保に努めるように。



本年度で役割を終える雪室



土・日開所で利用しやすい運営に努めている = 子育て支援センターこあら

次は人事など

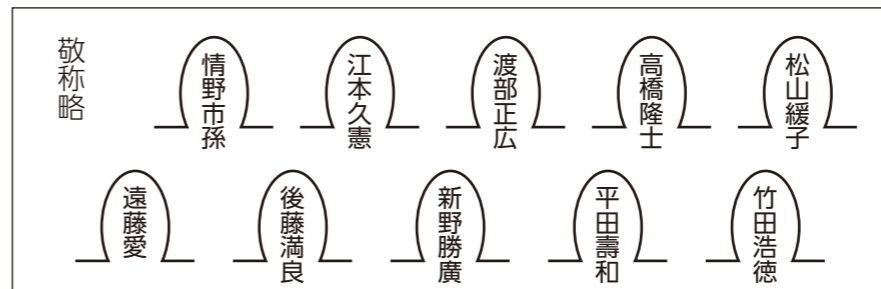
# 人事

## 新 農業委員に同意

令和8年3月4日、任期満了となる農業委員の新委員が提案され、全員同意された。再任された新野勝廣会長は、令和5年3月19日より会長となる。2期目の任期は令和11年3月18日まで。



新体制の基で新たなスタート



- ① 江本 久憲氏 (新任) 小松地区
- ② 平田 壽和氏 (再任) 大塚地区
- ③ 渡部 正広氏 (新任) 犬川地区
- ④ 情野 市孫氏 (新任) 中郡地区
- ⑤ 高橋 隆士氏 (新任) 玉庭地区
- ⑥ 竹田 浩徳氏 (再任) 東沢地区
- ⑦ 新野 勝廣氏 (再任) 吉島地区
- ⑧ 松山 緩子氏 (新任) 小松地区
- ⑨ 遠藤 愛氏 (再任) 吉島地区
- ⑩ 後藤 満良氏 (再任) 小松地区

**監査委員**

● 嶋貫 榮次氏 (再任) (大字上小松) 略歴  
令和8年3月17日で任期満了となるため提案するもの。

**人権擁護委員推薦**

法務大臣より推薦の依頼があったので、議会へ意見を求めるもの。

● 黒澤 紀美子氏 (再任) (大字堀金)

● 齋藤 之氏 (新任) (大字吉田)

● 齋藤 幸夫氏 (再任) (大字位)

# 正算 補予

## 物価高騰 対策などに 重点増額

# 条例

## 子ども子育て 支援金のため 国保税改正

# 請願

● 日本酒原料米支援  
● 小学校・各施設工ネルギー補助  
令和7年度一般会計補正予算(第10号)で、各公共施設の水道光熱費の高騰対策としての補助、山形鉄道施設整備補助、さらに日本酒原料米高騰支援事業に329万円、鳥獣被害防止対策(猟友会支援)に147万円などが主なものである。

1月28日臨時会 (一般会計補正予算第8号)  
中学校長寿命化整備事業における過払い金の返還と予算の再計上、繰上償還・加算金などが増額補正された。

2月20日臨時会 (一般会計補正予算第9号)  
冬期交通確保事業で除雪費の1億4000万円が増額補正された。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例  
国の子ども子育て支援法の改正により、国民健康保険税に新たに子ども子育て支援金分の課税が設けられる。課税対象者ごとに、平均年額3000円が加算される。  
**賛成多数により可決** (反対2人)

子ども子育て支援制度による「子供誰でも通園制度」を実施するために設備および運営の基準を定める改正。  
**全員賛成により可決**  
ほかに、川西町まちづくり委員会条例、川西町商工業振興資金融資制度基金条例が廃止。

山形県総合コロニー希望が丘職員宿舎に関する請願  
川西町大字上小松 伊藤久一郎  
山形県総合コロニー希望が丘職員宿舎に関する請願  
請願者 伊藤 進  
山形県総合コロニー希望が丘職員宿舎に関する請願  
請願者 伊藤 進



安定した価格が望まれる



子どもの元気は地域の元気

山形県総合コロニー希望が丘職員宿舎に関する請願  
請願者 伊藤 進  
山形県総合コロニー希望が丘職員宿舎に関する請願  
請願者 伊藤 進

カスハラ

※本町のカスハラ対策は

町長 一 予防・対応マニュアルを策定

**町長** 全職員のアンケートでは20・8%の職員がカスハラを受けたことがあるとの回答であった。具体的にはクレームや要求を執拗に繰り返された、大声で怒鳴られた、侮辱的な発言や脅し、名誉棄損、人格否定の発言や態度があったなどの結果であった。令和7年10月に川西町カスハラ

**橋本** 窓口や住民対応の際、暴言や過度な要求は、現場の職員を委縮、疲弊させてしまい見逃せない課題である。職員の心身の安全は質の高い住民サービスの基盤である。現状把握はどうか。

**町長** ターナーハラスメント予防、対応マニュアルを策定、実施している。内容はカスハラ定義、認定、予防、対応を記載、場合によっては、警察への通報、弁護士への相談も示している。

**橋本** 公共施設使用料の考え方は

**町長** 物価高騰により、施設維持管理コストが増大している。一部利用者負担も考えられるが、一方では物価高で苦しむ町民にとっては安価で利用しやすい施設とすべきだが、考え方は。

**橋本** 川西診療所が整備される羽前小松駅前周辺は道路が狭く、交差点での出入りとなるため、特に高齢者の車での通院の不安がある。

**町長** 駅前と周辺環境整備も必要ではないか。国道と県道の交差点で、歩道や側溝の老朽化が進行し、狭い箇所もあり安全な通行に影響が出ている。また、交通量も多く事故が発生する危険性が高い。国、県に対して

**橋本** 重要事項要望として道路整備を要望している。

**町長** まちづくりに向け、隣地企業敷地の方向性は。まちづくりには欠かせない魅力ある重要な土地である。町の考えを伝えながら協議していく。



橋本欣一 議員



職員は名字だけの表示になります。

町政を問う



6人の議員がするどく一般質問

定例会第2日目に一般質問が行われ、6人の議員が町政について質問しました。(発言順)に掲載します。

P21	橋本 欣一 議員	① カスタマーハラスメント対策 ② 公共施設の使用料 ③ 公立置賜川西診療所周辺の環境整備
P22	船山 千鶴 議員	① 保育料の負担軽減 ② スクールバスの運用
P23	寒河江寿樹 議員	① 公共施設等における熱中症対策等 ② 各種ハラスメント対策等 ③ 部活動における今後の地域展開
P24	吉村 徹 議員	① 給食費無償化 ② 農家戸数の減少 ③ 第6次川西町総合計画
P25	伊藤 進 議員	① 新たな活力あるまちづくり
P26	高橋 輝行 議員	① 令和8年度当初予算 ② 川西町の職員数

一般質問は、議会ホームページの録画中継によって見る事ができます。(https://www.town.kawanishi.yamagata.jp) ①抜きの数字は掲載された質問。

まちの未来が見える(3月定例会の傍聴者は2人)  
議会傍聴においでください  
次回定例会は6月です

どなたでも傍聴できます(事前連絡は不要です 役場3階においでください)  
定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。



## 熱中症対策

### 公共施設 熱中症対策の今後の在り方は

#### 町長 ー 安全・安心な施設環境に努めていく

**寒河江** 公共施設における熱中症対策の今後の在り方の検討状況は。

**町長** 教育環境の充実と災害時の避難環境の改善を一体的に捉え、健康、教育、防災の各分野が連携しながら、安全、安心な施設環境の整備に努めていく。

**寒河江** 公共施設のLED化は。

**町長** 現在75パーセント以上の切り替えが完了しており、残りの施設については、施設の利用計画により進めていく。

**寒河江** 各種ハラスメント対策はどうか。

**町長** 町職員に対しては、川西町安全配慮マニュアルを管理職に配布し、各種ハラスメント防止に努めるとともに、カスハラ対策としては、カスハラ予防・対応マニュアルを策定し、職員に対応などを示している。

**寒河江** 認定地域クラブの状況は。

**町長** 部活動における今後の地域展開と認定地域クラブの状況は。

**寒河江** 令和8年度からの部活動は平日のみとし、休日は活動を希望する生徒が、地域クラ

ブなどに所属し活動を行うこととしている。認定地域クラブの現在の状況は、12団体の申請があり、今後、認定手続きを行い、生徒たち周知していく。

**寒河江** 中学校・町内の公共施設の使用および使用料についてとスクールバスの運行はどのようにするのか。

**町長** 認定地域クラブは中学校の体育館やグラウンド、町内の公共施設での練習ができるように考えている。また、休日は3時間の使用料を免除していく。スクールバス運行については、これまでと同様に休日の学校

までの運行を継続するが、練習試合などのためのスクールバスの要望については、利用回数を設定するなど検討していく。

**寒河江** ホッケー競技などへの補助金の今後の在り方と、国体から34年後のホッケー競技の振興は。今後、中体連主催の大会がなくなった時、町からの補助金はどのように。

**町長** ホッケー競技については、今後強化、普及を図って行く。各種派遣、補助金については、同一の基準を設定し、今後も競技間の平等性が保たれるようにしていく。また、中体連主催の大会がなくなった時の補助金の在り方は、部活動改革の過渡期であり、今後、町において検討を進めていく。



寒河江寿樹 議員



認定地域クラブで安定した活動に = 町民総合体育館

## 一般質問

### 保育料

#### 保育料負担軽減は

#### 町長 ー 令和8年度より無償化する

**船山** 保育料の負担軽減の現状と課題は。

**町長** 本町では国の制度により、3〜5歳児の保育料は無償化となつてきているほか、第3子以降の無償化や第2子の軽減など、段階的に保育料の負担軽減を進めてきた。さらに町独自の取り組みとして、第2子以降の保育料を所得制限なく無償化するなど支援を拡

充している。また課題については、すべての子どもが安心して保育を利用できるように、国・県・市町村が連携して進めるよう要望している。

**船山** 無償化拡充の検討状況は。

**町長** これまで保育料無償化を実施していなかった世帯の保育料の無償化を、令和8年度の予算案に計上している。

**船山** 財源確保と実施可能性は。

**町長** 令和8年度の予算案における保育料無償化の財源について、令和7年度の国の補正予算で計上された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当することとしている。

**船山** 保育料無償化の町長の方針は。

**町長** 子育て支援の充実として保育料

無償化を掲げ、令和8年度から予算に盛り込み実施する方針を示した。今後も「子育てするなら川西町」と思える環境づくりを進めていく。

**船山** 保育料無償化は子育て世帯の支援にとどまらず、第2子以降への上乗せ支援、多子世帯への支援など、人口減少対策の柱となるよう、さらなる施策の検討を求めた。

**船山** スクールバスの運用拡充の意向は。

**町長** スクールバスの運用基準は平成23年度に設定されたものだが、通学状況を踏まえて見直しを行い、令和8年度から通学距離「おおむね3キロメートル以上」を基準に運用していく。また、

希望制による利用拡充については事例を調査し、メリット・デメリットを整理しながら調査・研究する。さらに、交通安全対策として学校周辺の混雑緩和や生徒への交通安全指導を、学校と連携して実施し、今後も小中学生の安全な通学に努めていく。



船山千鶴 議員



子育てを気軽に相談 = 子育て支援センター

## 農業

### 農業基盤整備事業の進展は

### 町長 一 計画的に進めていく

**伊藤** 早く農業基盤整備がなされないのかとの話が出てきている。

**町長** 基盤整備を通じて計画に基づく土地利用、営農活動により、地域の安定的な農業経営に繋がっていくことが、何より大切であると捉えている。

**伊藤** 「稼げる農業」をより強く進めるためにも、より早い取り組みをしていかなければならないのではないか。

**町長** 今後も引き続き、要望地区内において県農村計画課、米沢平野土地改良区、白川土地改良区と連携し

ながら、土地利用計画、営農計画などの策定作業を進めたいと考えている。

**伊藤** この事業を行うことにより、担い手不足が深刻化する状況を改善していくことにも繋がっていくと思うが。

**町長** 本事業の町の負担は事業費の10%と大きな財政負担ではあるが、今後の農業人口減少、担い手不足の解消に向け、本町基幹産業、食料生産地として優良農地を守るとともに、農家収益の向上につながるよう、適切に取り組んでいく。

稼げる産業づくりについて

**伊藤** 町では新たにダリア園オリジナル品種を生かしたブランド「山形セレクトショナダリア」の本格販売を始めたが、状況はどうか。

**町長** 山形県オリジナルブランド確立と市場における本県産ダリアの有利販売を目指す取り組みである。有望オリジナル10品種選定後、試作栽培と市場調査を重ね、令和6年度から「チョメル」と「光の矢」の2種類が販売開始された。

**伊藤** 置賜農業高等学校で取り組まれている冬咲きダリアも、町の観光、地場産業に繋がっていかねばならないのではないかと。置賜農高では、農業を通して地域資源の活用を学ぶため、「冬咲きダリア」栽培が行われ、東京都

の市場へ出荷したり地元イベントで販売されている。町としても観光および農業の振興につなげられるよう研究していく。

**その他** 社会教育士の質問 人材育成について教育長への質問を行った。



暗渠パイプ布設工事 = 西大塚地内

## 学校給食

## 一般質問

### 学校給食の無償化は

### 教育長 一 小学校は80%負担軽減していく

**町長** 全国的に給食費無償化を実施する自治体の増加や無償化に向けたさまざまな団体などの運動により令和8年4月から国では、小学校の給食費助成の予算が計上されたところがあるが、本町の取り組みは。

**町長** 公立小学校における基準額は一人当たり月額5200円となっている。本町においては、国の交付金により小学校給食費の約80パーセントの負担軽減を図っていく。

**町長** 今後中学校の給食費無償化に向けても検討するところがある。

**町長** 国は、小中学校の給食実施状況の違いなどを含めた課題の整理を行ったうえで検討している。本町では、物価高騰による国の交付金を活用し、一食当たり50円の補助

を実施していく。

**町長** 本町農業の現況は

**町長** 本町における農家の減少状況は。今後、国から提供される情報を注視していくが、大きく減少していることが想定される。

**町長** 廃業された農地の受託状況は。限られた担い手で農地を守っていくためには、兼業農

家などを含めた幅広い担い手において農地を集約しながら耕作することが重要と考える。

**町長** 令和8年度産の生産者米価、消費者米価の情勢についてどのように捉えられているか。

**町長** 今後の民間在庫量や販売動向により、米価の下落も予想されるところである。米価の動向は農業経営に直結するものであり、

安定した農業経営に向けた取り組みについて、国、県に要望していく。

**町長** 4月から10年間の計画期間となる、第6次川西町総合計画の周知は。行政だけではなく町民とともに

推進することが重要であるため、ホームページでの計画公開、町報への掲載、概要版の全戸配布を行う。また、事業を実施する際などに折に触れて本計画の内容と各施策について周知していく。



学校給食の無償化が望まれている = 犬川小学校調理室

## 一般質問

### 職員数

#### 業務量に対し適正な状態か

#### 町長―不足分は職員の時間外、休日勤務で対応



高橋輝行 議員

**高橋** 令和8年度当初予算については、119億8800万円、前年度対比12.8%減額との説明があった。令和7年度の当初予算規模は、137億4千万円となっており、大幅な減額となっている。かねてから、川西町の身の丈にあった予算は100億円程度と言ってきた。令和8年度予算の中で公立置賜総合病院分の地方交付

税が普通交付税と特別交付税分を合わせて13億円強ある。これを差し引いて計算すると100億円に近い予算であり、これまでと比較すると、緊縮した予算であると見ている。国では、高市総理大臣が「責任ある積極財政」を掲げ、投資と成長の好循環を生み出していくとしている。川西町においては、100億円を一つの目標と

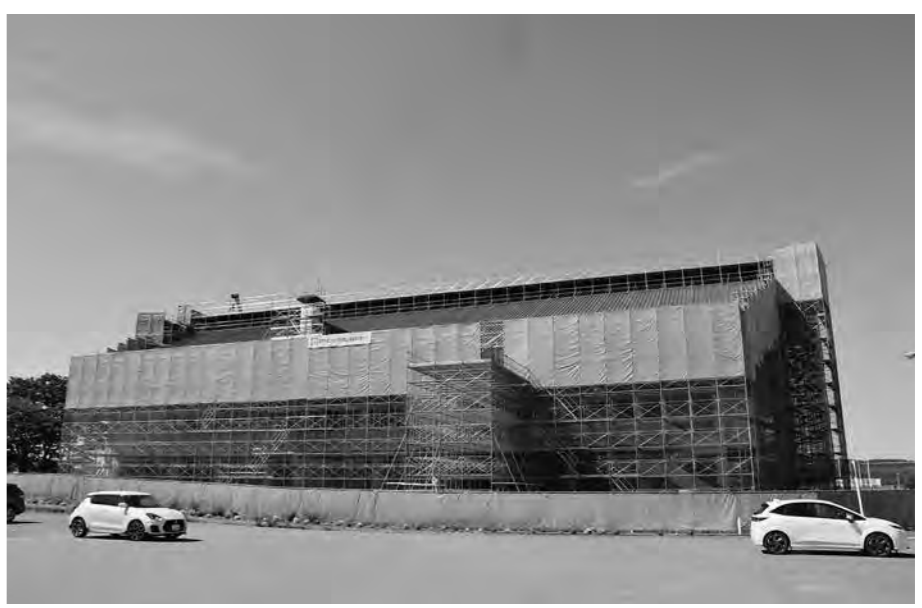
しながらも、町民の負担に応え、懸案事項を解決するためには財政規律の範囲内で、時には財政出動も必要ではないか。やるべきことはやらなければならないし、目標を超えてやらなければならぬ。時間もあると思うが、町長はどのように考えているか。

**町長** 町税や地方交付税が今後減少していくと想定される。身の丈にあった予算規模を考えている。

**高橋** 近年、地方公共団体の職員については、技術職を中心にしては、公務員のなり手不足が深刻化し、業務遂行に支障が生じかねない状態と言われている。特に1999年（平成11年）の地方分権一括法成立以降は、地方分権の名のもとに国から

県へ、県から市町村へと事務の権限移譲が進められ、財源や権限を市町村に移行したものの、市町村では事務量が增大する一方のことである。川西町では、現在の事務量に対し職

**町長** 員数は適正な状態といえるか。会計年度任用職員の雇用などで不足に対応しており、それでも不足分は職員の時間外勤務、休日勤務等に対応している。



大型改修工事修了 = 町民総合体育館

## 臨時議会

1/28 臨時議会

補正予算（第6号）の専決処分が提案された。物価高騰対策によるもので、1億5613万1千円を増額補正。また、補正予算（第7号）として、衆議院選挙などの費用として1292万7千円を増額補正。

**全員賛成により可決**

**特別職給与条例改正**

令和6年度決算審査において、監査委員からの指摘により内容を精査、事務処理の錯誤による過払いを確認した。これにより減給処分（2カ月）を行ったものである。

**全員賛成により可決**

2/20 臨時議会

補正予算（第9号）が提案された。冬期交通確保、福祉灯油の上乗せ分、病院企業団構成団等負担金1億6247万円を増額補正。

**全員賛成により可決**

## 川西中学校 長寿化工事費 過払で特別職を減給処分

## 特別委員会

経過 議会のさらなる活性化と町民負託に

的確に伝えることを目指し、議員定数などについて調査研究を行うため、令和7年6月17日開催の議会定例会において本特別委員会を設置し、3月に調査結果が報告された。

**調査結果**

多様な住民の意見を集約し町政に反映させるためには、一定数の議員が必要である。本町においては令和元年に15名から14名、令和5年に13名に減員した経緯がある。必要以上の定数削減は、執行機関の監視・

率制機能の低下も懸念される。

また、報酬との関連では、議員報酬を増額する代わりに議員定数を安易に削減することのないようにという全国町村議会議長会の指摘を踏まえ、検討した。議員からの意見集約では、議員定数の現状維持が10人、3人減員が1人。議員報酬は、議員定数を3人減員したうえで5万円増額が1人、議員定数を現状維持としたうえで1万5千円増額が1人、1万円増額が4人、若干の増額が5人であった。

これらを踏まえ、検討の結果、議員定数は現状の13人を維持し、

## 議員定数現状維持

## 報酬は増額の報告

### ―議会活性化調査特別委員会―

報酬は見直しの方向で特別職報酬等審議会を開催し検討しよう当局に求めることとした。

### 議員のなり手不足の解消

①県内町村議会議員報酬の上限を参考として、議長、副議長を含めて、一定額の増額を行うべきである。

②議会の情報発信 議会だよりで年4回シリーズ化して掲載し、女性が立候補しやすい環境の整備を図る。

③出前講座の実施 議会や議員活動を知ってもらうことを目的として、要請があれば出前講座を実施する。

**議事運営の効率化**

近隣置賜4町を中心に県内町村議会の会期日程と比較し、本町議会定例会における効率化の可能性について検討を行った。

本町議会の分科会審査は、所管課の係長以上が出席。議案内容の詳細な説明を受けることで、相互理解を深めながら審査を行っている。

これらの運営を継続しつつ、効率化できる部分について協議を行った結果、3月定例会（予算）、9月定例会（決算）の分科会日程を短縮する方向で検討することとした。

役職	削減率	金額（月額）
町長	30%	84万円→58万8000円
副町長	25%	67万円→50万2500円
教育長	20%	58万5千円→46万8000円
合計		155万8500円

次は委員会レポート

# 委員会 レポート

## 各施設整備 状況を調査

さまざまな活動ができて

と感じた。コンセプトは「よりそう、つながる、わくわくの縁側」で、特別な目的がなくても誰もがふらっと立ち寄り、立場や世代を超えて集える場所を目指すというところで、利用者数を増やすために工夫が必要であることを確認した。

## 米沢飯豊線菅沼峠整備の現地調査

産業厚生常任委員会

令和7年12月18日、主要地方道米沢飯豊線菅沼峠整備に関する現地調査を実施した。玉庭地区と中津川地区は古くから会津や越後を結ぶ交通の要衝と



県担当者より説明を受ける = 菅沼峠

## 議長交際費(議会活性化の一環として公開)

令和7年10月から令和8年3月まで

月	件数	金額(円)	内容
10月	0	0	
11月	2	20,000	置賜広域行政事務組合議会議員懇親会等
12月	2	17,000	民生委員児童委員歓送迎会等
1月	3	22,000	川西町消防団幹部新年会等
2月	2	23,000	置賜三市五町議会連絡協議会議長会等
3月	1	6,000	川西町認定農業者の会全体研修会
下半期合計		88,000	

## 広報モニターから

# ひとこと④

犬川 中鉢絵里子 さん

## この町で暮らし 感じたこと

私は5年前に川西町へUターンしました。現在は農業をしながら、高齢の両親と暮らししています。四季の移ろいの中で働き、落ち着いた日々を過ごせるこの町の暮らしは、私にとって大切なものです。離れて暮らした時

間があったからこそ、この町の穏やかな日常のありがたさを改めて感じています。地域の活動に関わる中で、多くの方がこの町を大切に思い、支え合いながら暮らしていることも実感しました。その一方で、昔から続いていた慣習や「ここあるべき」という空気の中で、女性や若い人が自分の考えを出しにくいと感じる場面があるのも事実です。特定の人だけに負担が偏るのではなく、それぞれが無理のない形で関わり、力を持ち寄れる地域であれば、若い世代も安心して地域に関わっていただけるのではないのでしょうか。

# いいね！かわにし 街かどインタビュー

## 3月8日(日)春待ち市(フレンドリープラザ)にて インタビューしました。



遠藤

隆政さん

早苗さん(川西町)

愛来ちゃん

お雛様やお内裏様の衣装を着せてもらい良い記念になりました。ステキなイベントですね。写真をお願いしました。(早苗さん)お雛様になって楽しかった。(愛来ちゃん)



きてけろくん(山形県議会議場キャラクター)

山形県をかたどったゆるキャラ「きてけろくん」が春待ち市に来てくれました。人気者といっしょに記念写真を撮る人たちが賑わっていました。写真はおひな様の屏風の前でひとり決めポーズ。きてけろくんも新年度ガンバってください。



竹田 伊智子さん(白鷹町)

毎年このイベントだけは参加しています。雰囲気がとてもいいです。山ぶどうでバックやアクセサリーなどの作品を販売しています。作品を見てステキと言ってもらえると、とてもうれしです。いっぱいお買い物してください。



山平 麻衣さん(米沢市)

瑛心くん

「春待ち市」のイベントをテレビで見ました。凄い賑わいですね。フレンドリープラザはよく利用しています。お殿様(お内裏様)の衣装を着て楽しかった。来年は友達も誘ってまた来たいです。(瑛心くん)



細谷 和香子さん(米沢市)

このイベントが来ると春が来たと感じます。毎年楽しみに参加しています。作品を手にして気軽に話ができるのがいいです。フレンドリー感があって人気なんだと感じます。今年も新しい出会いがあるといいですね。



遠藤 加奈子さん(米沢市)

イベントに毎年参加していますが、家族や親子連れの方が多く印象です。ゆるい感じがとても気に入っています。みなさんとの会話や交流するところが楽しいです。新しい発見にワクワクしています。



梅津 智恵子さん(川西町)

今日は着付けのお手伝いをしていきます。十二単の着物は大変重いですが、お雛様の衣装を着て嬉しそうに微笑み、男の子は凛々しい姿に満足げの表情。参加された家族みんなが笑顔になれて、ハッピーな気持ちの1日でした。



柿崎 貴仁さん(新庄市)

早由理さん

郷土愛が強い町の印象です。また、食べ物がとてもおいしいです。テレビを見て「白あん入りいちご大福」に魅せられて来ました。食べて満足しています。ダリアの時期も来ますが、若い人が頑張っている町だと感じます。(早由理さん)

ご意見は議会活動に生かしていきます。



# あれから…… どうなった！

## カン債ってなに？

### 町の未来を創る、賢い財源の使い道

私たちの川西町は、国から「過疎地域」に指定されている。これは「過疎法（過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法）」という法律に基づいたものである。この指定を受けることで、町は「過疎対策事業債（過疎債）」という、通常の借金よりも格段に有利な条件で資金を借り入れ、地域の活性化や生活環境の整備を進めることができるようになる。令和8年度から新たな過疎計画が策定され、それぞれの事業に取り組み。

### 過疎債の大きなメリット

「債」とつくため、一見すると単なる町の借金のように思われるが、過疎債には他の地方債にはない「最大のメリット」がある。



過疎債 デマンドタクシーでも活用

それは、返済の際、借りたお金の70%を、国が「地方交付税」として肩代わりしてくれるという点である。つまり、実質的に町が負担するのは借りた額のうち30%で済む計算になる。この有利な財

### ハードからソフトへ活用の幅が拡大

以前の過疎債は、道路や公共施設などの整備（ハード事業）が中心だった。しかし現在は、目に見える形のない「ソフト事業」にも幅広く活用できるようになっている。例えば、地域の医療

源を賢く使うことで、限られた予算の中でも町に必要な施設整備やサービスを維持・向上させることが可能になる。

### 川西町での具体的な使い方

川西町においても、この過疎債は重要施策のエンジンとなっている。

【ハード面：安心して暮らせる基盤づくり】  
農業競争力基盤整備事業や、災害に強い道路・公共施設のインフ



町民の健康づくり = パークゴルフ

体制を維持するための医師の確保、公共交通の運行、移住定住促進、さらには地域課題を解決するための事業や人材育成など、町を元気にするための仕組みづくりにも、この30%の負担で取り組むことができる。

「ソフト面：町民が主役のまちづくり」  
子育て支援医療（子どもの医療費無料化など）  
・地区交流センターへの地域づくり補助など  
・地域交通の維持、デマンドタクシーなどの運行支援による高齢者の移動手段の確保。  
このように、過疎債

は単なる整備費だけではなく、川西町が掲げる「女性・若者活躍推進」や「メディアカルタウン事業」といった、私たちの暮らしを直接支える「ソフトの力」としても、余すことなく活用されている。



# 10年ぶり 最優秀賞の快挙

## 町村議会広報全国コンクール



最優秀賞を受賞した第161号

全国から331町村

議会が応募した広報全国コンクールで、本町議会が10年ぶりに3度目の最優秀賞を獲得した。

### 審査員講評（抜粋）

**芳野委員長** 町誕生70周年に対する「ちょっと言わせて」、モニターからの「ひとこと」、裏表紙「インタビュー」など、市民の声などの広報企画が双方向性と親近感をもたらします。

ページごとに練られた見出し、表情豊かな人物や状況を的確に伝える写真類も効果的です。

金井委員 議会の機能を伝える政策検証。町民との意見交換会を起点とした議会からの政策提言、執行部の対応、検証、評価という一連のプロセスが図解とともに分かりやすく解説されています。議会活動の基本となる政策サイクルを伝えることは読者の議会活動への理解や納得につながると思っています。

前田委員 「町が大好き」は、単なる地域おこし協力隊の報告ではありません。次代を意識した活動を記録に残すことも検証のあり方の一つなのだと、新鮮な思いで読みました。

### 置賜地方町村議会議長会表彰（在籍10年）

3月4日議会定例会初日、神村建二議員、鈴木幸廣議長および伊藤進議員が議員在職10年の自治功労者として、置賜地方町村議会議長会より表彰を受け、賞状と記念品の伝達が行われました。誠にありがとうございます。これからのさらなる活躍を期待します。



表紙の写真

今日から一年生  
桜開花の中、4月8日に町内各小学校で入学式が行われた。犬川小学校は、全児童52人で新入生は9人であった。

令和10年度には小松小学校へ統合となる。少子化が進む中、学校が統廃合されてなくなることが寂しく残念であるが、子どもたちの学習環境を最優先に考え、時代の流れを受け止めざるをえない。

子は国・地域の宝であり、子どもたちの未来が明るく豊かな社会であることを切に願うばかりである。未来へ羽ばたけ川西っ子。



平成26・27年度に続き3度目の全国一＝広聴広報常任委員会

### 次は町民の声

# かわにし

議会だより

第165号

2026

4.15



今日から  
一年生

犬川小学校入学式より P31に関連記事

特集

なるほど議会ウォッチング	2
シリーズ広聴 女性議員インタビュー	4
政策提言 検証評価	6
3月定例会のあらまし	10
町政を問う	20
あれからどうなった	30



川西町議会HP  
QRコード

トクタビユー

## 町民の声

### 地域のつながりを大切に



プロフィール

高橋 香代さん

川西町大字西大塚  
家族は、夫と子ども2人、  
義父母の6人家族  
東根市出身  
旅行(年1回は家族で)

大塚地区にお住いの  
高橋香代さんに川西町  
についてお話を聞き  
ました。

結婚したのは

2017年に結婚し  
ました。山形市で1年  
間暮らし、2018年  
に主人の実家がある川  
西町に越してきました。

川西町に来て

メデイカルタウンが  
できたことで、地域が  
活性化していくのはう  
れしく、今後は楽しみ  
です。

町の印象は、総合病  
院や大型店も近くにあり、  
交通アクセスも整  
備されていて不便は感  
じられません。

夫は、地元産酒米に  
こだわった醸造の酒蔵  
を営んでいます。私は、  
環境部門の仕事をして  
います。

子育てで思うことは

町の子育て支援は比



家族揃って幸せいっぱい

較的充実しています。  
現在、長女(6才)と  
長男(4才)の子育て  
中ですが、私の代わり  
に面倒や家事などさま  
ざまな面で、主人や義  
母に頼り支えてもらえ  
るので、仕事に専念す  
ることが出来ます。そ  
の代わり、休日は子ど  
もたちといっしょに過  
ごしています。

将来、小学校が統廃  
合になるのは現状の少  
子化を見れば仕方ない  
と思います。地域づく  
りを形成するには子ど

もは不可欠ですが、地  
域住民のつながりや地  
域活動がより重要であ  
ると思います。

町に対し要望があればお聞かせください

今後とも人口が減って  
いく中、町のインフラ  
整備や経済、特に上下  
水道料金などが心配で  
す。町長には町のかじ  
取りを頑張ってほしい  
です。(夫・義孝さん)

いただいた要望は町に提言していきます。

編集のあとで

▼今号は、定例会閉会  
の翌日が入稿で編集  
委員一同、四苦八苦の  
状態でした▼定例会最  
終日まで議案の賛否が  
わからぬものもあり、  
毎回はありますが、い  
ゆる予断を許さない編  
集作業でした▼編集委  
員の、わかりやすく伝  
えたいという情熱が、  
紙面を通して感じてい  
ただければと思います  
▼10年ぶりの全国一、  
読み手があつての議会  
だよりです。今後もご  
愛読、感想などを寄せ  
てください。

(はしもと)

- 発行責任者 鈴木 幸廣
- 委員長 橋本 欣一
- 副委員長 鈴木 孝之
- 委員 伊藤 進
- 同 遠藤 明子
- 同 寒河江 寿樹
- 同 船山 千鶴
- アドバイザー(文章) 佐々木 賢一
- 鈴木 浩之
- 山田 順一
- 斎藤 文夫
- アドバイザー(写真)

# 町民の声

## 地域のつながりを大切に

大塚地区にお住いの高橋香代さんに川西町についてお話を聞きました。

### プロフィール

高橋 香代さん

川西町大字西大塚  
家族は、夫と子ども2人、  
義父母の6人家族  
東根市出身  
旅行(年1回は家族で)

#### 結婚したのは

2017年に結婚しました。山形市で1年間暮らし、2018年に主人の実家がある川西町に越してきました。

#### 川西町に来て

メデイカルタウンができたことで、地域が活性化していくのはうれしく、今後が楽しみです。

町の印象は、総合病院や大型店も近くにあり、交通アクセスも整備されていて不便は感じられません。

夫は、地元産酒米にこだわった醸造の酒蔵を営んでいます。私は、環境部門の仕事をしています。

#### 子育てで思うことは

町の子育て支援は比



家族揃って幸せいっぱい

較的充実しています。現在、長女(6才)と長男(4才)の子育て中ですが、私の代わりに面倒や家事などさまざまな面で、主人や義母に頼り支えてもらっているので、仕事に専念することができます。その代わり、休日は子どもたちといっしょに過ごしています。

将来、小学校が統廃合になるのは現状の少子化を見れば仕方ないと思います。地域づくりを形成するには子ども

もは不可欠ですが、地域住民のつながりや地域活動がより重要であると思います。

#### 町に対し要望があればお聞かせください

今後とも人口が減っていく中、町のインフラ整備や経済、特に上下水道料金などが心配です。町長には町のかじ取りを頑張ってほしいです。(夫・義孝さん)

いただいた要望は町に提言していきます。

### 編集の後で

▼今号は、定例会閉会の翌々日が入稿で編集委員一同、四苦八苦の状態でした▼定例会最終日まで議案の賛否がわからないものもあり、毎回ですが、いわゆる予断を許さない編集作業でした▼編集委員の、わかりやすく伝えたいという情熱が、紙面を通して感じています  
▼10年ぶりの全国一、読み手があつての議会だよりです。今後もお愛読、感想などを寄せてください。

(はしもと)

- 発行責任者 鈴木 幸廣
- 委員長 橋本 欣一
- 副委員長 鈴木 孝之
- 委員 伊藤 進
- 同 遠藤 明子
- 同 寒河江寿樹
- 同 船山 千鶴
- アドバイザー(文章) 佐々木賢一
- 鈴木 浩之
- アドバイザー(写真) 山田 順一
- 齋藤 文夫